2025 年　3 月　28 日　第 1 版

# 情　報　公　開　文　書

| | |
|---|---|
| 研究の名称 | ヒト脳内の磁性鉱物の起源推定及び疾病との関連性の検討 |
| 整理番号 | |
| 研究機関の名称 | 国立大学法人富山大学 |
| 研究責任者<br>（所属・氏名） | 富山大学学術研究部都市デザイン学系地球システム科学科 川﨑一雄・准教授 |
| 研究の概要 | 【研究対象者】<br>新潟大学脳研究所が保有するアルツハイマー病と対照正常高齢者の各 10 例<br>【研究の目的・意義】<br>ヒト脳内にはナノ及びマイクロメートルサイズの磁性鉱物（鉄酸化物）が存在することが知られており，アルツハイマー病との関連が指摘されています。本研究は，脳内の磁性鉱物に着目し、それらの起源が外因性か内因性か明らかにすることを目的としています。また、国内における磁性鉱物と疾病の因果関係を検証します。<br>【研究の方法】<br>脳組織標本（10%バッファーホルマリンで固定）の小片を対象に、磁性鉱物の種類，量，粒径の磁気特性を同定し，結果を対照試料と比較します。<br>【研究期間】<br>　実施許可日　～　2026 年 3 月 31 日<br>【利益相反の状況】<br>本研究に関して、開示すべき利益相反関連事項はありません。<br>【研究結果の公表の方法】<br>利用する情報には、お名前、住所など、参加者さんを直接同定できる個人情報は含まれておりません。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も参加者さんを特定できる個人情報は利用しません。 |
| 研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無） | 新潟大学脳研究所病理学分野で保管されている、病理解剖由来のヒト脳組織。疾患名、性別、年齢。 |
| 研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名 | 国立大学法人富山大学<br>齋藤 滋・学長 |
| 研究資料の開示 | 研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。 |
| 試料・情報の管理責任者（研究代表機関における研究責任者の所属・氏名） | 富山大学学術研究部都市デザイン学系　地球システム科学科<br>川﨑 一雄・准教授 |
| 研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）からの相談等への対応窓口 | 研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。<br>　電話：076-445-6647　FAX：076-445-6549<br>　E-mail　kawasaki@sus.u-toyama.ac.jp<br>担当者所属・氏名<br>富山大学学術研究部都市デザイン学系　地球システム科学科・川﨑 一雄 |